



みどりの子

令和7年4月号

所沢市立荒幡小学校
校長 小林 雅行

目指す学校像

子供たちの「笑顔がいっぱい」「挨拶がいっぱい」あふれる学校

暖かな春の訪れを感じ、入学式を前にして校庭の桜の木々が満開となりました。

新1年生の御入学、誠におめでとうございます。また、元気いっぱい、笑顔いっぱいで進級した児童の保護者の皆様、おめでとうございます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

荒幡小学校は、開校44年目を迎えました。今年度も教職員・保護者・地域の皆様が三位一体となり「調和」のとれた学校教育を推進していけるよう努力して参ります。皆様におかれましても、引き続きお力添えいただければ幸いです。

さて、今日の学校教育においては、教育改革するべく様々な取組が進められています。本校におきましても昨年度以上に、慣例にとらわれない教育を実践し、子供たちの豊かな心を育ていけるよう取り組んで参ります。

この年度替りで教職員8名が異動し、新たに10名が着任しました。新しい体制で、力を合わせ全力で本校教育の充実を目指していきます。

本年度の児童数は、新入生55名・2年生47名・3年生50名・4年生62名
5年生57名・6年生64名の合計335名となります。また、特別支援学級(ひまわり学級)も2クラスになります。よき伝統を引き継ぎ荒幡小学校の発展、創造のために、そして地域に誇れる学校づくりのために、子供たちと共に力を合わせてまいります。

3月31日(月)に地域の方から、こんなお電話をいただきました。

先日、地域を歩いていたところ、自転車に乗った中学年から高学年くらいの男の子2人が、すれ違い様に「こんにちは」と大きな声で挨拶をしてくれました。

その女性はとても嬉しくなり、わざわざ学校にお電話をしてくださったのです。荒幡小学校の子供たち、そして、荒幡小学校の教育はすばらしい・・・と。

その女性とお話をさせていただきながら、心の底から嬉しい気持ちが沸き上がってくることを感じるとともに、ご連絡をくださった地域の方に感謝の念を感じずにはられません。そういった温かい目で子供たちを見守ってくださる地域の皆様に、学校も子供たちも支えられているんだなあ・・・と。

昔から言い尽くされた言葉ではありますが、やはり「教育は人なり」なんですね。

最後になりましたが、今年度、2年目となります、校長の小林雅行でございます。今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。